



# 留学生と語り合う No. 94

## RKKニュース (2024年 新年号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

### 地区交流会への期待

地区交流会について、その活動面等々について新たな見方からの検討が望まれています。

RKKの全員が随時に交流会を開催することは地理的や会場などでも難しく、よって、地区交流会が地区ごとに会員間の深い交流を目的に設置されました。

ご承知のとおり、地区交流会は活動Gや委員会とはその活動目的が異なります。地区交流会には活動G、委員会等のような特定テーマではなく、幅広い交流の場です。その一面、会員ごとの活動状況、入会情報などの把握では管理的側面もあります。また、会員皆様には会の情報を直接に提供でき、皆様の感想などもその場で聞くことができます。このようにRKKにとって不可欠の組織であります。

このところ、交流会の活動にややマンネリ化の傾向が聞かれます。またマンパワーも要望されています。前述のように地区交流会は小集団の活動ですが、活動の自由度は大きく、活動の余地は広いと思います。

現在、“地区交流会スタッフ懇談会”を開設し、地区交流会の活性化が検討されています。その中には、地区間の交流やイベント開催なども議題になっているようです。前例に捉われず、交流の基本を踏まえて活動を広げたいものです。その中には留学生とのグループ交流、外部との交流もあるでしょう。紙面の都合でより詳細には触れられませんが、まずは、自由な立場で会員皆様の遣り甲斐を見出し、RKKの新しい活動を地区交流会からも芽吹かせたいものと期待します。

深水 智明

### Expectations for the district exchange meetings

It is hoped that a new perspective will be taken on the activities of district exchange meetings.

District exchange meetings were established for the purpose of deepening exchanges among members in each district, as it was difficult to have from time to time exchanges with all RKK members due to geographical and meeting venues.

As you know, the purpose of the district exchange meeting is different from that of Activity Group and Committees. The district exchange meeting is a place for a wide range of exchanges, rather than a specific theme such as activities or committees. On the other hand, there is also a management aspect to understand the activity status of each member, membership information, etc. In addition, we are able to provide information about the association directly to our members, and hear their opinions and impressions on the spot. From this perspective, it is an essential organization for RKK.

Lately, there has been a tendency for the exchange group's activities to become a bit of a rut. Manpower is also required. As mentioned above, the district exchange meeting is an activity of a small group, and there is a large degree of freedom in its activities, so I think there is a wide scope for activities.

Currently, we have established a "District Exchange Staff Meeting" and are considering revitalizing the District Exchange Association. Among them, it seems that exchanges between districts and holding events are also on the agenda. We would like to expand our activities based on the basics of exchange without being bound by precedent. This may include group exchanges with international students and exchanges with outside parties.

Due to space constraints, I cannot go into more detail, but I hope that members will find their worth in their work from a free standpoint, and that new RKK activities will sprout from the district exchange meetings.

## 日本語スピーチ大会

### 第16回日本語スピーチ大会

日本語支援グループ 布津 甚大



2019年を最後にコロナ感染拡大に伴いやむを得ず、3年間中止致しておりました。3年間のブランクがありましたが、ようやく社会も正常化へと進んだことから4年ぶりに開催致しました。

開催に際しては、山田氏（元横浜国大教授）、池田氏（元横浜国大教授）、新しく講評担当の藤井氏（元横浜国大教授）3人と元RKK理事長大田氏の出席を頂きました。当日は久しぶりの開催で心配していましたが、多くの来客

があり盛況の中でスピーチ大会を開催致しました。

スピーチの留学生は7人（横浜国立大学6人、東京大学1人）で、その出身国は中国、ベトナム、スリランカ、パラグアイ、ミャンマーの5ヶ国から選出し、テーマは自由に10分以内でスピーチして頂き、更に各担当のチューターの皆様にも同伴をお願いし、留学生のスピーチの前に留学生の紹介をして頂きました。スピーチ終了後、講師の藤井氏より留学生各人に対して的確な講評を頂きました。また、初めて参加された藤井氏から当大会について、以下の全体的感想をいただきました。すなわち、・留学生たちが真剣に話す姿が素晴らしいと思いましたが、・スピーチ自体も留学生たちが日本の生活の中で日々いろいろな思いと向き合いながら過ごしている事が垣間見える内容のあるものが多く感銘致しました、・留学生たちがこうしたスピーチが出来るのも日頃からチューターの方々をはじめ皆様の親身なサポートがあればこそと感じました、などです。

さらに、皆様からは、・会場全体の雰囲気も大変暖かく留学生たちの緊張も和らぎ安心してスピーチに臨めた事、また、・スピーチの前にチューターの方から留学生の紹介があったのも良かったし、スピーチの順位もつけなかったもの良かった、などのコメントを頂きました。

最後に、初めての試みとしてスピーチをした留学生とチューターの了解を頂き、7人の留学生のスピーチの動画をRKK会員及び留学生に配信しました。



### 留学生日本語スピーチの動画配信について

ICT推進委員会 永作 重夫

4年ぶりに、RKK日本語スピーチ大会が2023年11月23日に実施されました。7人の留学生にいろいろなテーマで発表をしていただき、盛況の下に終了いたしました。スピーチ大会の発表を動画配信できないものかといくつかの方法に関して整理してみました。

#### 1) ハイブリッドでの配信

いろいろな機器を配置して当日の発表会の会場へ来られなかった方へライブでの配信を行います。

すべての状況（発表、会場内でのやりとり）をハイブリッドで対応することは可能ですが、質疑応答が不要であるスピーチ大会なので、ハイブリッドを実施しなければならない必要性は少ないと考えます。

#### 2) ZOOM ウェビナーでの配信

ZOOM会議で動画を取り込みながらウェビナー対応として、外部の方にも参加してもらえます。ただし、質疑応答はできない。これもライブでの配信がスピーチ大会の情報としては、必須ではないと考えました。

#### 3) ZOOMで動画撮影して、後日Youtubeへの変換を行い、配信

WEB環境が整っておれば、ZOOM会議の形でライブに参加してもらってもよいし、動画撮影を実施し、後日、Youtubeへ変換にて配信できます。

パソコンにセットする外部カメラ、マイクをハイレベルにすることで、より綺麗な動画が可能となります。

#### 4) スマホまたはビデオカメラで動画撮影して、後日 Youtubeへ変換しての配信

ユーチューバーの方の多く活用しているアイデアですが、スピーチ大会においてどれだけ綺麗に撮れるかは撮影環境に大きく影響されると考えました。

総合的に検討した場合は、ライブである必要はないので、3) または4) での選択が基本となると考えました。実際の対応としては、4) の方式を採用して、スマホ撮影⇒ClipChampで編集⇒Youtubeへ変換⇒限定対応でのRKK会員および対応留学生への配信の方向で進めました。スピーチの内容を発言の音として提供できることとその時の発表者の立ち振る舞いも動画であれば提供できるので、配信した方が良いかと思えます。既に動画の配信はされておりますので、スピーチをご鑑賞願えればと思います。

## 文化祭

### 第8回文化祭が開催されました

文化・ファミリー交流グループ 徳屋 英生

コロナ禍で中止を余儀なくされていた文化祭が多くの来場者を迎え11月23日に4年ぶりに開催されました。日本人会員による絵画、写真、書道、似顔絵、川柳等が展示され、その素晴らしさに心を打たれました。こけし、人形など民芸品の展示は留学生の興味を引き、日本伝統文化の紹介になりました。

ワークショップは、囲碁将棋、書道、男児、女児の伝統遊戯、福笑い、似顔絵とバラエティーに富み多くの参加者が童心に返って楽しむことができました。



いつも人気の似顔絵は今年も大勢の人で順番待ちの長い列ができました。念願であった生け花体験も開催できました。事前申し込みによって選ばれた8人の男女留学生が大久保さんの指導の下、投入れによる生花を体験しました。松本、岩科さんによる着付けで3人の留学生が着物を体験し楽しい思い出になりました。

例年行っていた茶道がコロナ禍のため断念せざるを得なかったのは残念でした。初めての試みとして音読会を行い、日本語のリズムの美しさ等を体験してもらいました。留学生は日本の伝統文化に浸ることができ、貴重な体験を楽しんだ事と思えます。

日本文化紹介に続いて、7人の留学生による母国紹介が行われました。

ラオスのシットさん、ホンジュラスのエテルさん、ボリビアのルーシーさん、バングラデッシュのオイシさん、イタリアのテレサさん、タイのポータコーンさん、チュニジアのマリエムさんで、中には日本人に比較的近い薄いの国の留学生もいてそのプレゼンテーションは興味を引きました。彼らの祖国に対する愛、伝統文化のすばらしさ、自然の美しさなど多くの参加者が感銘を受けました。



## Essay on the Cultural Exchange Festival

Yokohama National University Graduate School ピライボン アノウシット ラオス  
Vilavong Anousit (Laos)

Despite having lived in Japan for over two years amid the challenges of the COVID-19 pandemic, participating in the Japanese cultural exchange festival marked an exciting first for me. The event, impeccably organized by RKK, stood out as a rare and exceptional experience, offering a diverse array of activities that captured my interest.



The festival showcased a variety of unique and novel activities that aren't typically found in my home Japanese culture. The picture and painting exhibition, featuring glimpses of Japanese life, caught my eye, allowing me to witness the essence of Japanese art. Engaging in the art of flower arrangement was a particularly memorable experience, as it revealed the inherent beauty and offered a chance to bring a piece of that beauty into my own living space for a few weeks. I also had the opportunity to try my hand at the intricate art of paper folding. One highlight of the festival was traditional Kimonos. It was heartening to see them revel in the experience, embodying the grace and elegance of Japanese aesthetics. Exploring the profound meaning behind Japanese calligraphy, whether through personal names or chosen words, added another layer to my understanding of Japanese culture. Notably, the event concluded with an enriching activity where international students, including myself, had the chance to introduce our home countries. Sharing aspects of our cultures, traditions, and ways of life sparked engaging conversations. This aspect of the festival not only facilitated a deeper connection with Japanese culture but also offered insights into the richness of other countries and their fascinating traditions.

In closing, I express my hope that this cultural exchange festival becomes a recurring opportunity for everyone to participate in the future. It serves as a bridge that connects people from different backgrounds and fosters a mutual understanding and appreciation of the diverse cultures that make our global community vibrant.

## 特別寄稿

### 継続は力なり

RKK 顧問、元横浜国立大学教授 山田 光義



1999年戸塚で行われた日本語指導法講習会の受講者が母体となって設立されたRKKの20年以上に亘る活動のことを思う時、いつも私の頭に浮かぶのは「継続は力なり」という言葉です。

横浜国立大学で留学生の生活指導担当の教官として勤務していた私はRKKの創立当初から顧問として種々の活動を共にさせて頂きました。留学生の本分は大学における学習、研究にあることは言うまでもありませんが、大学外の日本人との交流を通して、日本の社会をよく知るということも重要なので、RKKはこの面でとてもありがたい存在だと私は常々思ってきました。

RKKの活動の中心は留学生への日本語指導、特に論文作成におけるサポートでしょう。RKKの会員は留学生のチューターとして、日本語指導の役割を果たしておられますが、RKKはその外にも、工場見学、平塚の七夕祭り交流会、秋にはRKKフェスティバルなど多彩な行事を企画しています。RKKフェスティバルはコロナ禍のため中止が続いていましたが、2023年11月23日には4年ぶりに行われました。フェスティバルの中心行事は日本語スピーチ大会で、私はいつも留学生のスピーチの後の講評を引き受けていましたが、残念ながら難聴が進みましたので、講評を私と同じ横浜国大で勤務しておられた藤井先生にバトンタッチさせていただきました。おかげさまで、今回の日本語スピーチは一人の聴衆として、のんびり楽しむことができました。個々の留学生の日本語スピーチに関連して、日頃その留学生の指導にあたっておられるチューターにも発言してもらったのはとても良かったと思います。

フェスティバルは、午後には部屋を移して会員の力作の絵画、写真の展示、囲碁、将棋、書道、似顔絵などのコーナーや生け花のワークショップも行われました。音読のコーナーは今回はじめて設けられました。福笑

い、けん玉、ヨーヨーなどの伝統遊戯には大人といっしょに留学生が連れてきた子供たちも興じていました。

今回新しい試みとして留学生による母国紹介が独立して行われました。いつも七夕の交流会のお世話をしてくださる徳屋さんの軽妙な司会で、ボリビア、ラオス、ホンジュラス、バングラデシュ、イタリア、タイ、チュニジアなどからの留学生が美しい画像を駆使して母国の紹介を行いました。日本語スピーチから切り離して、このようなコーナーを設けたことはとてもよかったです。

日本の総人口は50年後には現在の7割に減少すると推計されています。総人口に占める外国人比率は10.8パーセントへ増加するとの予想です。日本の大学での勉強を終えた留学生が我々の良き隣人として、日本で活躍してくれることを期待しています。RKKの留学生支援活動の重要性はますます高まっていくでしょう。RKKの歴史をこれからも伸ばしていきましょう。継続は力なりです。

## 留学生からのたより

### 日本留学から得た大事な2つの学び

横浜国立大学大学院 Trinh Thành Luân (ベトナム)



いよいよあと3ヶ月足らずで、私の日本での留学生生活が終わります。日本語学校で1年半、大学で3年、大学院で2年、日本での約7年間は、多くの思い出、挑戦、成功、そして失敗を経験してきました。そして、私にとって何よりも大切なのは、学んだことです。この7年間の旅で私が最も大切にしている2つの学びを皆さんと共有できることを嬉しく思います。

一人ひとりが、自分の国を代表しています。初めて日本に来たときは、留学生に対する窃盗やゴミの不法投棄の注意看板を見て、とても驚き、とても悲くなりました。わずかな行動でも周囲の人々は、あるコミュニティや国全体の性格を連想する可能性があることを私は理解しました。

一方、7年間の日本生活の中で、大使館や留学生支援団体でのボランティアを通じて、多くの企業のビジネス担当者や採用担当者との出会い、話をする機会がありました。多くの企業が優秀な外国人従業員を主な理由に、外国人向けの新たなポジションを開設したり、さまざまな国との新しいプロジェクトを立ち上げたりしていることをよく聞きました。これらの外国人従業員の専門性、仕事への献身、そして良い資質は、多くの企業がその国に対してよりオープンで信頼できる視点を持つことにつながりました。これらの日々努力している個人は、国境を越えた協力の架け橋として活動しています。おそらく新しい国にパスポートを持って行くとき、私や他の多くの若者は、そのパスポートが個人的な目標や計画を超えた責任を意味していることを認識していませんでした。成長していく中で、私は常に自分の国への誇りを持ち、自分の国のイメージが常に美しくあるように努めたいと思います。また、先輩たちが成し遂げてきたように、自分の国と日本、そして他の国々の協力と発展を促進する架け橋となるよう、常に努力していきたいと思っています。

現代化や経済発展は、社会を冷たいものにするのではなく、むしろ人間愛を大切にすることを育むものです。ベトナムでも日本に住み始めの頃でもバスや電車で席を譲ったり、転んだり荷物を持っているときに助けたりする若者の姿が減っていることにいつも悲しみを感じていました。代わりに無関心や冷淡が目立つようになりました。数年前、経済の発展や近代化によって人々は個人的な仕事に忙なり、個人間の距離がますます遠くな

ることを理由にこのようなことは当り前のことだと諦め、言い訳していました。しかし、大学受験の際に、以前は面識のなかった先輩たちが多くのことを手伝ってくれたことで考えが変わりました。彼らは、試験対策の資料や経験、試験期間中の宿泊、試験会場への案内など、さまざまな面で助けてくれました。大学に進学後もRKKの会員、特にチューターから多くの助けをもらいました。RKKの活動を通して、日本生活に早く溶け込むことができました。日本語や日本の文化の授業だけでなく、生活の困りごとを相談する機会も多く、チューターは私を家族の一員のように気遣ってくれ、有益な知識やアドバイスをたくさんくれました。日本に来たばかりの頃のような不安を感じることもなくなり、大学の先輩やRKKの皆さん、チューターがいつでも助けてくれることを知っていたため、安心して生活することができました。周りの助けを通して社会の発展によって個人間の距離が離れていようとも人間愛が常に存在しているということを学びました。自分も周りの人々を助けていきたいと強く思うようになりました。

新しい旅が始まろうとしています。私は、これからの経験や挑戦をとっても楽しみにしながら、7年間にわたって私を助けてくれた人々への感謝の気持ち、そして彼らとの経験や学びは決して忘れることができず、いつも笑顔で思い出す、かけがえのないものです。

## 心 温まること

大阪大学大学院 張子萌 (中国)



2022年3月30日、今後はどうなるんだろうとわくわくしながら、密かな不安を抱えて日本に来ました。最初、学校で様々なレポートとゼミ発表の資料を書かなければならないので、自分は日本語に自信がなかったので、学校の文章添削サポートを利用していました。でも、予約枠が少なくてサポーターと文章以外の話もできませんでした。この時、友人にRKKのことを勧められました。自分は大阪府豊中市に住んでいるので、RKKのオンライン勉強会には参加できませんでしたが、オンライン・サポートがあることを教えてくださってよかったです。オンラインでの勉強会なので、予約時にパソコンを使える利便性があります。Zoom・ネット状況が不安定になったらすぐ調節できるので、勉強会自体に対する支障が少ないです。でも、一方、ネットの不具合などで勉強への集中力も減ることもあります。文章の添削について外国人が気づいていないが、日本の方から見るとおかしい日本語を色々指摘され、とても勉強になりました。そして、今まで挨拶の言葉を何も考えずに使っています。勉強会で挨拶の背後にある意味、言葉の語源を知ることができて面白い。それだけでなく日本文化、歴史、アートなど色々話すことができ、今まで教科書で教えてくれなかった知識をいっぱい学んで良かったです。そして、私がメールでよく間違っている日本語を抜粋してくれて、その癖を意識させる勉強方法も効果的です。

また、2023年の元日、日本で初めて新年の挨拶ハガキをいただいて、心が温まる気持ちになりました。日本に滞在する時間がまだ長くないが、このような様々な親切な人と事と出会い、日本で働きたい、長く住みたいという気持ちが強くなりました。就職活動を始める時も自分はエントリーシートの添削など、様々な助けを頂きました。うまくいかなかった時もサポーターさんと相談できて、自分に自信がない時、温かい言葉で慰められました。今は好きな会社の内定をもらい、立派な社会人になるように頑張っています。RKKとの出会いは私の生活に素晴らしい影響を与えてくれました。自分も誰かの力になりたい気持ちが生まれました。

# じんせいはいつ だんがんとざん 人生初の弾丸登山

元横浜国立大学 Bui Viet Thiên Thư (ベトナム)



こんにちは、トゥーと申します。ベトナム出身で、去年4月から大学卒業して横浜にある自動車会社で働いています。この記事では、富士山での弾丸登山体験についてお話しします。まず、弾丸登山とは、日の出の景色を見るために途中で宿泊せずに一気に頂点まで登る事です。とてもハードコアに聞こえますが、実際にとってもハードでした(笑)。体力に自信のない方には山小屋での宿泊をお勧めします。知っておくと良いことを共有したいです。

まず、富士山の頂上はとても寒い事です。高い場所は寒いと知られていますが、富士山の頂上では風が強いので、服が不足すると危険です。そのため、ヒートテックなどで寒さから身を守る準備をすることをお勧めします。次に、富士山の頂上まで登ることは一般の方にも可能です。上り下りで合計約12時間かかるため大変そうに思われるかもしれませんが、ゆっくり休憩を取ったり、一緒に登る友達と会話を楽しんだり、山の上の景色を楽しんだりしながら登ると、それほど長く感じません。私も一度もつまらないと感じたことはありませんでした。

感想としては、日本に住んでいるからこそ一度挑戦してみたかったことに挑戦できて、とてもうれしかったです。さらに、周囲に登っている高齢者の姿を見てとても刺激を受けました。留学生の皆さんも一度挑戦してみる価値があると思います。大変なことではありますが、我慢できないほどではなく、安全設備も完備されているので安心して登山できると思います。

最後に、富士山の弾丸登山は私にとって特別な体験でした。頂上からの景色は言葉では言い表せないほど素晴らしかったです。皆さんもぜひこの感動を体験してみてください。安全を第一に考えながら富士山の魅力に触れる旅に出かけてみてください。一緒に頂上を目指しましょう！

## く ぼう わたし にほん 食いしん坊の私にとって日本は

神奈川大学大学院 郭美希 (中国)



美食好きな私は、日本に来て最も魅力的だったのは日本の美食です。日本の美食は多彩で特徴的で、さまざまな味覚を満たしてくれます。まず、日本の寿司は世界的に有名な美食の一つです。新鮮な刺身に丹念に作られたソースと特製の寿司飯が組み合わせたり、無限の味覚の喜びをもたらします。その多様性から多くの方が日本で思い出に残る理由となっています。また、ラーメンも日本の料理で注目される一部です。醤油ラーメン、味噌ラーメン、塩ラーメンなど、それぞれ独特の風味があります。日本の街角には、本格的なラーメンを提供する多くの小さな店があり、濃厚な日本の味を感じることができます。

伝統的な料理だけでなく、焼肉も日本の飲食文化の一大特色です。新鮮な肉が提供され、自分で焼炉で調理することができます。この対話型の食事体験に美味しい様々なたれソースが加わり、本当に忘れられない思い出となります。

私としては、甘いもの好きとして、日本のスイーツ文化も見逃せない魅力の一部です。伝統的な和菓子から現代的な抹茶アイスクリームまで、日本のスイーツは美味しさと精巧さが共存しており、驚きと喜びが絶えません。特にパンケーキは、私が毎週必ず食べに行くほどです。

日本の生活の中で、街頭の屋台も外せません。唐揚げ串、たこ焼き、焼き鰻など、様々な屋台が都市の至る所に広がり、いつでもどこでも美味しい街の小食を味わい、濃厚なローカルな風味を感じることができます。さらに、日本の料理には創意に富んだ新奇な食べ物も多くあります。寿司ハンバーガーやラーメン、ピザなど伝統と現代が巧みに融合され、新しい食事体験が提供されています。

全体的に言えば、日本の美食が人々を引きつける理由は、その独特な味だけでなく、豊富で多様な選択肢があり、どんな人でも自分の口に合った美味しい料理を見つけられるからです。日本では、食事は単なる満腹行為だけでなく、美食文化を探索する冒険でもあります。

日本の美食文化がもっと多くの人に愛され、多くの留学生が美味しい料理を探求するために日本にやってくることを期待しています。美味しい食べ物は味覚だけでなく、文化の継承や交流の一環でもあります。日本独特の美食を共有し、広めることで、多くの人がこの国の特別な魅力を体験し、異文化理解と友情の構築に寄与できるでしょう。

## 留学生の見る『日本の着物文化』

元フェリス女学院大学 レディシア サンデラ  
Ladycia Sundayra (インドネシア)

はじめまして。バリ島の出身でレディシア・サンデラと申します。私の日本文化への愛情は、高校生の頃から始まりました。私は日本文化、特に伝統文化に興味を持っています。留学生として1年間フェリス大学で過ごしたことで、日本の様々な文化に触れる機会が多くあり、日本語だけでなく特に伝統文化に非常に興味を持ちました。これまで私は日本文化について学ぶことのできる様々な活動やイベントに参加してきました。茶道、書道、生け花、浴衣や着物などです。その中でも特に私は日本の伝統的な衣装に非常に興味があります。

2014年の夏に友達と一緒に訪れた横浜の花火大会で浴衣が夏に着用されることを知り、自身の浴衣や着物への興味のきっかけとなりました。また、RKKでの日本語の先生である杉田先生が私に着物を着よう誘っていただいたことももう一つのきっかけであり、より深く着物について学ぶことができました。浴衣・着物の歴史から着方、装身具まで学び、よりもっと豊富な知識を身につけたいと思いました。バリ島に帰ってから、私は常にバリの文化と日本の文化を融合させることを夢見ています。ある時、デンパサール日本総領事館が主催する日本に関する記事のコンテストに参加しました。私は優勝し、女性用の浴衣1セットと男性用の浴衣1セットを賞品としていただきました。その時に私は日本の伝統的な衣装についての知識をより深めたいと思いました。「Endek」と呼ばれるバリの生地を用いて浴衣を作ったことがあります。「Endek」で作った浴衣に日本の帯を合わせました。

2023年の秋、私は再び文化祭へ参加するためにフェリス大学へ訪れる機会がありました。そこでは、私はバリの生地を使用した浴衣を着用し、この機会を通して私が身につけている浴衣について、二つの異なる文化の融合について話しました。伝統的なバリの生地を使った浴衣を作り上げ、日本とバリ島の文化を融合させた経験を私は誇りに思っています。これからも日本の文化を学び続け、私がバリ島の代表として今後もバリの名を広めていくことに尽力していきたいです。



# 留学生の就活支援

## 就活で大事にしたこと

元横浜国立大学大学院 Trinh Thị Thảo (ベトナム)



皆さん、こんにちは。私はベトナムから来たチン・ティ・タオです。2016年に横浜国立大学の理工学部に入學し、その後、同大学大学院に進學し、そして2022年に卒業しました。現在、東京での建設コンサルタント会社で働いています。私の仕事内容を簡単に言うと、途上国をはじめ海外での公共交通の発展に関わる都市鉄道の調査・計画そして設計を行う仕事です。大学院では都市と交通計画を専攻し、母国等の途上国では鉄道整備の需要が高まっている中、資金制約や技術能力の不足といった問題により計画通りに中々進んでいないことを学びました。そこで、現在の日本の優れた鉄道技術を海外に展開し、途上国での鉄道整備に貢献できる仕事に携わることができるため、とてもやる気を感じています。会社の上司や周りの先輩に色々教えてもらいながら毎日仕事に奮闘しています。

留学生の皆さん、大学や大学院を卒業した後、日本で就職したいと思う人が多くいるでしょう。就活で何をすればいいか、どの会社を選べばいいか悩む人も少なくないと思います。私も就活した時に色々悩みました。3年前を振り返ると、私が就職活動で最も大事にしたのは自分が何をしたいかという自己分析のことでした。なぜかという、就活とは自分にマッチングする会社を探すプロセスだと思ったからです。そのため、まず自分がどのような仕事がしたいのかしっかり考えて、そのうえでそれができる会社に関する情報を得るために大学の先生や先輩に聞いたり、インターネットで調べたりしました。また、できるだけ早い段階からインターンシップに参加したほうがいいと思います。それを通して、どういう仕事をしたいかより明確になるし、またインターンシップによって自分自身がその会社に合うのかも見定めることができるからです。私の場合、前述したように大学院で都市・交通計画について勉強し、途上国における都市・交通問題を改善したいという思いがありました。そのため、その思いが実現できる海外で事業をしている建設コンサルタントを中心にインターンシップに参加したりOB/OG訪問したりしました。就職してから2年目になりましたが、改めて考えなおすとやはり自分がやりたい仕事ができる会社で働いたほうがいいとより実感しています。仕事を始めた際に、なじみのない新しいことばかりなので、戸惑ったりうまくいかなかったりした時がたくさんありました。そのような時は、やりがいのある仕事なら前向きな姿勢で頑張っていけるからです。なので、就活を考えている皆さん、数多くある会社がある中で、どこで就職すればいいか決める前に自分が何をやりたいのかという自己分析を大事にしてください。

就活中ほど自分の将来についてよく考えられる機会はありません！

皆さんが無事に就職活動を乗り越えられますように願います！



## 私の就活支援

東地区交流会 田中 和生

私は、8年前に横浜市国際学生会館のボランティアとして、留学生の支援活動を始めました。日本語会話の相手になればと思い登録し、一人の中国人留学生と出会いました。彼女は、日本での就職を希望しており、「就活塾に通わないと就職できませんか？」というのが最初の質問でした。当時の私は、留学生の就活塾の存在自体を知らなかったのですが、奨学金とアルバイトで学費と生活費を賄っていた彼女にとっては、塾にお金を支払う余裕はありません。



一方、私は就活に関する知識や情報は皆無で、ましてや留学生の就活支援など未知の世界でした。しかしながら、目の前の留学生が困っているのを見て、何とかしてあげたいという気持ちが先に立ち、彼女の就活支援を引き受けました。就活のプロセスは、彼女から教わり、分からない事はネットで調べ、就活参考書を読み、できることから試行錯誤で取り組みました。支援を進めていく内に自らの企業での勤務経験が非常に役に立つ事に気付きました。その後、何人かの留学生の就活を支援している内に、国際学生会館からの依頼で、会館内で就活セミナーの講師を務めるようになりました。更に、横浜市大の留学生就職支援講師を務めるコーディネーターの方とも知合い、学内の就活セミナーを傍聴させて頂き、支援ノウハウを蓄積しました。毎年、支援した留学生から友達や後輩の支援を頼まれるようになり、今までに就活支援した留学生は、14ヵ国110人を超えました。今年は、横浜市大と横浜国大で、就活セミナーの講師も務めさせて頂きました。また、最近は就職後の彼らの仕事の悩みや転職相談にも乗っています。そんな関係で繋がっている彼らは、いつでも、快く良く後輩のために時間を割いて、アドバイスをしてくれます。私は現在、RKKの会員としても、活動させて頂いておりますが、今までに出会った留学生との繋がりを大切に、RKKの活動を通じて、お役に立てればと考えております。

### 留学生の皆さんへ / For International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話 (Daily Conversation)
- ・ ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書支援 (Writing Japanese Theses & Reports)
- ・ 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・ 日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・ 就職活動 (Job Hunting・Entry sheets/Interviews)



Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact : 津田(Tsuda) e-mail; [sakura\\_tsudakei@yahoo.co.jp](mailto:sakura_tsudakei@yahoo.co.jp)

Website : <https://sites.google./view/newrkk>

## 留学生との交流

### 留学生との交流が元気の源に！

北地区交流会 萩谷 正治

現在、私は4人の留学生のチューターをしています。今日はその中の一人で今年4月にパラグアイから日本にやって来た女性留学生のアマンダさんについてお話をしたと思います。布津さんの紹介で7月からチューターを始めました。ボランティア活動の一環として、色々な国の留学生や在日外国人に日本語を教えて来ましたが、アマンダさんはその中でも最も熱心な生徒の一人です。お母さんが日本人で関西に住んでいることもその一因でしょうか。現在は、日本語検定N4の受験に向けて勉強中で、私はそのお手伝いをしています。



「新完全マスター文法 日本語能力試験N4」、「新完全マスター読解 日本語能力試験N4」の2冊を4ヶ月かけてやり斬りました。良かったことはオンラインレッスンでしたので、時間調整が比較的楽だったことです。お互いの都合の良い時間を見つけて約1時間のレッスンを行って来ました。週によっては、ほぼ毎日レッスンを行ったこともありました。レッスンは日本語が中心ですが、日本語の言葉や文章の説明、文化的な背景などは、英語で詳しく説明しました。また、日本を知ってもらおうということで、社会見学グループの主催で行われた「東京証券取引所」見学会（9月25日開催／写真）にも一緒に参加しました。11月19日には横浜市中央卸売市場本場で開催された「横浜市場まつり2023」にも行きました。アマンダさんにとっては、日本の魚文化を理解する上でとても良い経験になったようでした。

アマンダさんは日系二世ですので、日本の歴史や文化にも興味を持っています。今後も2ヶ月に一度ぐらいは日本の歴史や文化に触れる場所にお連れして、対面での親睦も深めたいと思っています。

### 新入正会員の皆さま：よろしくお願ひします！

内田 俱子（平塚市）（敬称略）

## RKKホームページをお訪ねください

ホームページは随時更新しております。新設の「会員のひろば」は広報誌のページにあります。

「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など趣味の情報交換にも利用できます。

掲載希望の会員はメッセージをRKK広報委員会スタッフにお知らせください。

広報委員会

# 文化交流

## せんりゅう たの 川柳を楽しむ

文化・ファミリー交流グループ 岩瀬 暢男

川柳は17音のとても短い文の中に展開する楽しく広大な世界です。5・7・5音という制約の下で自分の思いを自由に表現する文芸として、読者の共感を得る喜びと娯楽的世界を楽しみつつ自分史にもなるようなこの川柳を楽しんでいます。

土壇場の数だけ伸びるアスリート (ひぐらし)

この原稿の締め切り日が直前に迫り、切羽詰まってこんな句を作りました。

川柳は会員だけでなく、母語が日本語ではない留学生にとってもこの短い文のせいで、誰でもが気楽に作句できる日本文芸です。日本語を見直し、学習する良い機会となります。さらに、留学生にとっては楽しみながらの口語調日本語習得の良い時間となるでしょう。

RKK 会員と留学生の皆さんから川柳の投稿を頂いて、皆さんで作品を楽しむ機会を下段のような形で設けますので、興味のある方は是非投稿してください(1回1人2句まで)。

- ・ 投稿先: <https://forms.gle/fFGB6B53eEAnNbS68>
- ・ 投稿期限: 2024年6月30日(期限内に何回でも投稿可)
- ・ 投稿できる人: 留学生、会員、RKK 入会希望者
- ・ 発表: 選者が選んだ句を RKK ニュース誌上に掲載します。
- ・ 選者: 文化・ファミリー交流グループ スタッフ等 RKK 会員 (合計数人)



## にほんご おんどく 日本語の音読について

東地区交流会 宮地 明男

以前、修論執筆を支援した留学生に非日本語学習会員としてレッスンを続けた時、様々な日本語の資料や伝統文化を体験するイベントを探しました。それは私自身にも日本語への関心が広がる取り組みで大変勉強になったのですが、一つだけ考えていながら実践できなかつたことがあります。それは、駒込にある六義園の散策です。柳沢吉保が造営した日本庭園には、彼の文学的素養を示す

「歌枕」の見立てが多数配置され、園内の所々に置かれた石柱には元の和歌を示す言葉が記されています。その歌を口にしてみることで名所の景観が浮かび上がるという仕掛けなのです。

さて、今年の大河ドラマの主人公紫式部が書いた『源氏物語』にも多くの和歌が出てきますが、この七五調で詠まれる短詩型のリズムは今も多くの日本語文に含まれます。短歌や俳句を初めとして近代詩や翻訳にも使われたこのリズムは、文学者ではない一般人も唱歌の歌詞という形で小学校の音楽の時間に教えられました。この七五調を音読する習慣は、たとえば、21世紀以後に“超”ベストセラーとなった『声に出して読みたい日本語』(齋藤孝・草思社)にも顧みられています。

ただ、「語り芸」が多く残るこの国なのに、言葉のリズムに大きな影響を与えている七五調のリズムは、日本語学習の中であまり意識されていません。そこで、これを「文化」の一つとして改めて考えてみたいと思



い、RKKフェスティバルの「文化祭」にワークショップを出しました。直前のことで事前のお知らせができませんでしたが、数人の留学生が関心を持って参加してくれました。

具体的には、まず日本語の「語り」を聴いてそのリズムを体感してもらい、七五調のテキストを読みながら音読の特徴を説明します。最後は留学生にも声を出してもらいました。今後、和歌の紹介なども交えながらオンラインでの開催なども視野に入れて活動を拡げていければと考えています。

## 社会見学

「JAXA 相模原、さがみはらリニアひろば見学会」

### "Unforgettable Memories with an Incredible Squad"

Yokohama National University Enayati Hesam (Iran)



First, I would like to express my gratitude to the volunteers who took the time to accompany the interested individuals on the field trip. As an international student, I feel lonely sometimes, and being able to hang out with people positively impacts my mood. Moreover, as a civil engineering student, the field trip and visit to the Shinkansen station under construction were highly beneficial for me. Additionally, visiting Japan's space history was fascinating as someone interested in space. Lastly, I would like to thank the participants who answered our questions patiently and shared their experiences with us. I am looking forward to participating in future RKK events.

#### 第78回見学会 社会見学G報告

留学生5人（ベトナム、インド、アフガニスタン、イラン）と日本人15人が参加した「JAXA（相模原）」の見学を実施。展示室はリニューアルされ、はやぶさ（小惑星探査機）をはじめとした多彩な展示物を見学。一方「さがみはらリニアひろば」では、リニア新幹線の神奈川県駅（仮称）の工事が進行中で、その全体像を見学。天気も良く気持ちのよい社会見学を楽しめたと思います。（永作）



## 外国語学習

### 私とベトナム語教室

外国語学習グループ（ベトナム語講座） 古谷 清子

「RKK でベトナム語教室を始めるので入りませんか？」とのお誘いを受けたのは、2021年の初秋の頃でした。生来の覗き趣味が高じて参加してはや3年になります。3年も学べば少しは話せるようになってもいいのですが、全くで情けない限りです。

ベトナム語は難しいですかとよく聞かれますが、答えはイエスでもありノーでもあります。難しいのは6つの声調を区別すること、母音が日本は5つですが、ベトナム語は12個もあって発音も聞き分けも大変難しく感じています。逆に有り難いのは、日本語のように動詞に過去形、現在形、未来形等の変化がないことです。また、漢字熟語から類推できる言葉も結構多いのは、日本人にはかなり有り難い言語かと思います。とは言え、70歳を超えての言語習得は大変難しく感じています。記憶が定着しないで、すぐ忘れてしまうのです。日本

語でさえ忘れて出てこないこの頃ですから、新しい言語ともなると致し方ありません。

でも、そんな生徒を先生は素晴らしいティーチングで導いて下さっています。ほとんどがズームでの授業ですが、同じことを何度でも、丁寧に、優しく説明して下さいます。同じことを何度も言わせるのは本当に申し訳ない思いに駆られます。ズーム授業の利点に、目から取り入れられる情報量の多さがあるかと思います。言葉と同時に映像を見せていただけるので、理解が深まります。

私は、言語は文化の最たるものと思っています。ベトナム語を通して見えるベトナムの地理、歴史、慣習、考え方等は異文化そのもので、それらが学べるのはとても興味深く楽しいことです。中国人に次いで在留が多くなってきているベトナム人、街で隣に見かけることも珍しくなくなりました。最近、ある温泉旅館で着物を着て接客していた若い女性に「シン・チャオ」（こんにちは）と呼びかけた時、返してくれたとびきりの笑顔が忘れられません。ベトナム語片言でも話せて良かったと思えた瞬間でした。NHKのラジオ講座にベトナム語が加わるのもそう遠くないと思っています。

## 『一生勉強、一生青春』

外国語学習グループ（中国語講座） 谷口 由美子

こちらで学習を始めさせていただき2年になります。

途中で休講したり欠席したりとなかなか優等生にはなれませんが、快く迎え入れてくださっている皆さんに感謝です。

毎回の学習は権明先生の授業の進め方が素晴らしく、とても楽しいひと時です。先ずテーマについてそれぞれが発表をします。一つ一つ日本語表現との共通点や相違点を指摘しながら先生が正しい中国語に修正して下さいます。発表者の言いたいことを一生懸命くみ取ろうとしながら修正して下さいますのであたたかい先生だなあと感じています。続いて単語の学習、四声の学習、指定の単語を使ったとっさの文作りへと進みます。ズームの学習でもあり人数も多いので、多少イライラすることもあります。皆さんのそれぞれの人生を感じながら参加することになっています。きちんと下調べをして幅広く課題を理解していらっしゃる皆様方に敬意を表します。



作文ではなく音声言語に重点をおいた今の学習法は個人的にとっても気に入っています。中国語は見ると何となくわかるような気がしますが、聞いた時にはさっぱりわからないのです。私の最大の悩みです。先生が提案して下さった四行詩の暗記や某ランゲージグループのリスニング練習等、私にとっては刺激的です。年のせいか忘れるのは得意だけれど覚えるのが苦手で、日々格闘していますが、大先輩の方々が熱心に参加していらっしゃいます。『一生勉強、一生青春』なんですね。よいお手本です。

先生の一人一人の思いを大事にしながらも、いつも冷静で的確なご指導に深く感謝をしつつ、日々邁進したいと思えます。回数は少ないですが対面学習も定例化されてきて、新しい風も吹きそうです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## よこはま夢ファンドのご案内

横浜市には、ボランティア団体の支援を目的とした“よこはま夢ファンド”の制度があることをご存知でしょうか。このファンドを通じてRKKの留学生支援活動を支援していただくことができます。ご協力をお願い申し上げます。

税制上の優遇措置などの詳細は **よこはま夢ファンド** で検索してください。



# 地区からのたより

## 地区スタッフ懇談会について

東地区交流会 鈴木 隆

12月24日のスタッフミーティングの後で今回も各地区スタッフが集まって懇談会が開かれました。今年に入ってから、スタッフミーティングの後に各地区スタッフだけが集まって懇談会を開いています。今年度の活動計画にあるように各地区スタッフが集まって懇談会を開くようになってから4回目となります。この懇談会の趣旨は、各地区の活動を相互に情報交換する事によって活動を活性化させる事にあります。各地区ではそれぞれの地区事情に応じて色々な工夫をこらした活動が行われていますが、同時にスタッフや出席者の固定化や会員の高齢化などといった共通する課題もあります。これらを持ち寄って、お互いに話し合い、情報交換し、意見を出し合う事で、相互に刺激を与える効果が期待されます。RKKの会員すべての人がいずれかの地区に所属する訳で、その各地区の活動を活性化する事が組織全体の足腰を強くする事に繋がると思われます。将来的には共同イベントや日本語支援情報交換会や学習会などの小グループ活動などに繋がる可能性もあると思います。まだ始まったばかりですが、回を重ねるうちにより有益な意見交換が出来るようになってきたと思います。



## 南地区交流会の現状

南地区交流会 永作 重夫

2023年は5月と9月に対面で実施しています。不参加の方には近況報告を提出してもらっております。現在の課題としては2つあります。

### 1) 留学生との進捗状況

- ・昔教えていた留学生からコンタクトがあり日本に駐在するので会いたいですねと連絡があった。  
⇒こんな形で、元留学生と会えるのはとてもうれしい。こんな機会を大切にしたい。
- ・英語で授業を受けている留学生は、日本語への習熟への目標が違う。どう対応したらよいだろうか。  
⇒原則は、日常会話レベルでよいのかもしれない。日本語で論文書く必要がないからハイレベルは不要でしょう。

### 2) 交流会の活性化

- ・留学生にも交流会に参加してもらい、対面またはオンラインで、意見交換できないだろうか。  
⇒留学生は、勉強、バイトで忙しいので、なかなか対面での参加は難しい。  
たとえオンラインであれ、多くのメンバーとの応対にてどんなメリットが得られるのであろうか。  
⇒多くのメンバーと話しをすることは、いろいろな会話ができるので、新しい気付きがあるのでは。
- ・RKK 会員同士での日本語の支援のやり方の相互交流はどうですか。  
⇒各人で対応する前提であるが、レベルアップを考えると RKK 全体としての課題かと思う。  
例えば”日本語支援で困ったこと“のようなテーマで、各地域からの集約でもよいし、新規にこのテーマで別会議を設定したほうがよいだろう。
- ・日本語支援以外にも留学生の日本での生活のフォローに RKK として注力したらどうだろうか。  
⇒どんな項目で、どう対応するかは個人対個人の問題なのかもしれない。
- ・語学活動のみをしているメンバーにとっては、交流会に参加する意義が少ないのでは。

⇒語学学習専門の方は、交流会参加での楽しみが少ないであろう。そのグループのメンバーで、フリーな交流会を実施されているのではないだろうか。

結論の出ない交流会になっていますが、フリーな意見交換を進めることは、重要だと思います。

## 「今こそ留学生と語り合おう」

北地区交流会を終えて

北地区交流会 松井 直子



北地区では毎年秋に留学生を招いて交流会を持って来ましたが、今回は4年ぶりに留学生との対面による交流会を実施することにしました。1部は地区会員同士の会議、2部は留学生と会員の交流会、3部は中華料理店で飲食を伴う歓談と3部に分けて実施しました。

参加された留学生の発表内容は多岐にわたっておりました。日本のアニメに対する興味から留学したいと決意された方、お母さまが日本人でそのルーツを知りたいと考えられた方、日本と中国の家族の比較研究をテーマにし、日本での生活を多方面で体験を希望された方など、日本に留学したいと思ったきっかけは様々でしたが、友達、先輩、先生方、そして日本人などいろいろな方々との出会いが大きく自分を変えていったことがわかりました。その中に私たち、RKKも含まれていることがとてもうれしかったです。

当日は北地区の会員7人、他地区の会員3人、留学生3人、そして深水さん、萩原さんにもご参加いただき、総勢15人になりました。また、当日参加は無理でしたが、2人の留学生が動画を送ってくださいました。これも初めての試みで、直接のやり取りはできなかったものの留学生の想いが伝わるとてもありがたい内容でした。Zoomの良さは、どんなに遠い所にもリアルタイムに交流できることです。対面のよさは多くの人と一堂に会しても相手の表情を自分の目で見てとれるということです。日本語支援も両輪で今後も続けることができればと思っています。飲食を共にしての交流は話が弾み大変有効ですが、今回は一人ひとりが注文をする形にしました。大皿で分け合い、そして大いに語れる社会に早くもどることを願っています。

今回は他地区の会員のみなさまとの交流もでき、私たちが気づかない点のご指摘も頂き、これも得難いことでした。当日は準備の不十分な中、会員の皆様には温かいご支援を頂きました事を感謝申し上げます。



## 会員募集中

留学生と一緒に国際交流を楽しみましょう。RKKでは下記のプログラムを用意していますので、皆様のご希望に合わせて、留学生と様々な交流ができます。

- ・日本語学習支援 (留学生と一対一で日本語の勉強、会話をします。)
- ・文化・ファミリー交流 (フェスティバルを開催し、異文化交流を深めます。)
- ・社会見学 (工場・公共施設見学、名所・旧跡をハイキングします。)
- ・外国語学習 (留学生を先生として、中国語、ベトナム語を勉強します。)

RKKの活動に興味をお持ちの方はRKKのホームページをご覧ください。



# ふじさわ国際交流フェスティバル

湘南地区交流会 坪井 弘喜

昨年に引き続き今年も、10月29日(日)に開催された藤沢市主催の「ふじさわ国際交流フェスティバル」に参加しました。従来同様、RKK パネル展示やリーフレット、RKK ニュースなどをテーブル上に準備、対応しました。



藤沢市に登録している日本語支援ボランティア9団体と一緒にテント利用でしたが、共有テントが昨年より小さく、また、理由の説明はなかったが(推測するに、昨年10月の韓国ソウル梨泰院大規模転倒事故の為か?)今年会場が二か所に分散されており、日本語関係テントが主会場と離れていたため、人流が昨年より少ない結果となり、活動説明や準備した資料を希望する訪問者の数が少なかったのは残念でした。藤沢市と定期的に日本語支援ボランティア関連会合があるので、他のボランティアと一緒に



この点を改善要望したいと考えています。そのような中で、来訪者の中に企業出身者で留学生と以前交流経験のあった男性が一对一对で留学生に接している RKK の活動概要に興味を示していました。

RKK の特徴として、日本語支援のみならず留学生と個人的に様々な交流が出来ることを説明、熱心に耳を傾けて頂いた。同様に RKK の留学生に対する活動内容を長い時間関心を持って聞いて頂いた高齢の女性もいました。以前には RKK のみならず他のボランティアの方々も来訪者の興味に応じて、近くに設置された空きテーブルで個別の詳細説明出来るスペースもありじっくり話す機会がありましたが、今回はそのようなスペースもないため立ち話しとなったので、この点も併せて藤沢市に改善要望したいと考えています。

日本での日常生活に最低限必要な日本語を学んでもらう場を提供するボランティア組織もあれば、RKK のように留学生(大学生、大学院生)といういわば高学歴の外国人に対する支援の在り方もあり、異文化交流の場の提供には様々な形があることを少しく押し出した PR の仕方もあるのかと考えさせられた数時間でした。

## “ひらつか市民活動センターまつり”で RKK を PR

湘南地区交流会 平澤 映二

ひらつか市民活動センターで11月26日(日)10時~15時の時間で「ひらつか市民活動センターまつり」があり、52団体が参加しました。留学生と語り合う会(RKK)湘南地区(平塚)もブースを出しました。



曇り空の寒い日でしたが多くの人々が来られました。私たち RKK のブースに RKK ニュース、創立20周年記念誌、RKK 入会の手引き、入会 PR 用リーフレットを手渡し用として並べました。また、ブースでは、何をやっているか興味を持ってもらえるよう、またブースに来られた人が手に取って、一目でわかりやすいように大判(A4版)写真6枚と RKK ニュース記事の「留学生のたより」、「支援者の声」をピックアップし、そのページをテーブルの上に広げて見やすく準備しました。

ブースの場所はひらつか市民活動センター2階の会議室内のため来られた人が入りにくい場所でしたが、約60人の人々が立ち寄り準備した資料を手渡ししながら RKK の活動を説明することが出来ました。準備した RKK ニュースは、積極的に求められる人も多く、すぐなくなりました。また、分厚い創立20周年記念誌を持ち帰られる人もいて追加で並べました。ブースに来られた方にはあまり RKK に興味のない人もいましたが、



A4版の写真を見て活動内容に興味を持たれた人がかなりありました。また、熱心に質問される人もあり、そのような方々には RKK ニュースの「留学生のたより」や「支援者の声」を見られました。

今回、準備した A4 版の写真によって RKK のブースに立ち寄ってみようかなどの誘因効果とどんな活動をしているかを視覚的に見てもらえることが出来たこと、また「留学

生のたより」・「支援者の声」は RKK の活動を通して留学生や支援者がどの様に感じているかを理解してもらうことが出来たと思います。

ブースに来られた人の感想として、こんな活動をしているとことがあると始めて知ったという人や素晴らしい活動ですね、と言われる人もいました。まずは、平塚で RKK を少しは知ってもらうことができたかと思います。「ひらつか市民活動センターまつり」に参加してよかったと思います。また、参加したいと思います。

今回の活動に協力いただいた深水さん、山崎さん、佐々木さん、吉澤さんには感謝しています。そしてその後、このセンターまつりを参観した方が RKK に入会されました。また、ひらつか市民活動センターの広報誌“ひらつかの風”にも RKK のブースが写真と共に紹介されました。

## 委員会情報

### コロナ禍後の卒業留学生の就職率等の変化から

キャリア支援委員会 畔取 孝

2年前の寄稿では2021年3月のコロナ禍における大学院卒業留学生の就職率の動きが、前年より10%以上も減少したことを確認しました。今回は、その時点からコロナ禍後の卒業留学生の就職率（人数）がどのように変化をしたかを確認いたします。

結論から申し上げますと、今年3月の就職率は、コロナ発生時に比べ概ね元にもどってきていることが分か

神奈川県		2023年3月卒	2022年3月卒	2021年3月卒	2020年3月卒
区分	進路別 人数	大学院	大学院	大学院	大学院
日本国内	合計	493 59.1%	420 52.6%	365 49.2%	423 60.4%
	就職	281 33.7%	216 27.0%	181 24.4%	237 33.9%
	進学	64 7.7%	75 9.4%	56 7.5%	59 8.4%
	その他	148 17.7%	129 16.1%	128 17.3%	127 18.1%
母国	合計	234 28.1%	276 34.5%	326 43.9%	209 29.9%
	就職	79 9.5%	98 12.3%	98 13.2%	83 11.9%
	進学	6 0.7%	4 0.5%	4 0.5%	5 0.7%
	その他	149 17.9%	174 21.8%	224 30.2%	121 17.3%
その他	不明等	107 12.8%	103 12.9%	51 6.9%	68 9.7%

りました。大学院卒業留学生を就職率で見ると、2020年3月(就職率33.9%)↘、2021年3月(24.4%)↗、2023年3月(33.7%)です。就職した人数で見ると、変化がより顕著になっていることが分かります。2020年3月(就職者数237人)↘、2021年3月(181人)↗、2023年3月(281人)↗と、コロナ発生時より大幅に増加していました。また、過去4年間の卒業した留学生数の推移を

見ると、コロナ禍にも関わらず継続して増加していました。※大学院における留学生の就職率および卒業者数等の推移は下表から確認できます。

ところで、政府（教育未来創造会議）では、2033年までに留学生数40万人の受け入れと、日本国内での就職率を60%とすることを目標とし、諸施策の実施に動いています。さらに、円安という経済面から見ますと、留学生にとっては授業料の高い国よりも授業料が安くなった日本を選択する可能性が大きくなりそうです。加えて、大学等の奨学金の充実も見逃すことはできません。つまり、今後も留学生の増加が予想されることとなります。そして、就職に関しては他国では就職後に一人前としての即戦力が求められる中、日本企業では入社後の社内教育制度が充実していること、専攻に縛られずに就職できることもプラス材料になり就職率の向上に繋がると言えます。

今回は神奈川県内の就職率（人数）の推移および、政府の方針に基づいた就職等の動きを概観しましたが、今後も留学生数増加と就職希望者増が見込まれます。これからのRKKの受け入れ体制（会員増等）、そして留学生と直接関わる私たちの取り組み方法も考えていく必要があります。

※データは神奈川県大学等在籍留学生調査を参考にしています

## おもな活動 (2023/11 から 2024/1 まで)

### 理事会・スタッフミーティング

◇12/24 に 2023 年度第 2 回理事会および第 3 回スタッフミーティングを開催。本年度の活動方針と重点活動目標をふまえて各活動 G、地区交流会、委員会からの C&C（報告、連絡、相談）を実施。

### 活動グループ

- ◇日本語支援 G：11/23、RKK フェスティバルで第 16 回日本語スピーチ大会を開催。5 カ国、8 人の留学生が発表し、約 60 人参加。発表者別の動画を YouTube に掲載。
- ◇文化・ファミリー交流 G:RKK フェスティバルで文化祭を開催。7 カ国からの留学生がスライドでお国自慢を披露。約 70 人が参加。RKK2023 フェスティバル写真集を HP に掲載しメール配信。
- ◇外国語学習 G：中国語講座(11 人受講)とベトナム語講座(9 人受講)は週 1 回オンラインで実施。
- ◇社会・工場見学 G：12/16、第 78 回見学会は「JAXA、さがみはらリニアひろば」で実施。20 人参加。

### 地区交流会

- ◇東地区：12/10 に対面式交流会を実施。6 人が参加。活性化について検討。
- ◇西地区：10/19 に対面式交流会に、6 人が参加。本年度の戸塚お結び広場は中止見込。
- ◇南地区：1/14 に新年会を兼ねて交流会を実施。6 人参加。
- ◇北地区：11/5 に留学生によるスピーチ、会食会を兼ねたハイブリッド形式交流会を実施。15 人参加。
- ◇中央地区：11/19 に対面式交流会を実施。6 人が参加。日本語支援教材について検討。
- ◇湘南地区：12/2 に 9 人で忘年会兼交流会を実施。藤沢国際フェスティバル、平塚市民センター祭に参加。

### 委員会

- ◇会員委員会：新入会員リクルート、入会窓口業務、会員名簿更新管理、マッチングの推進。
- ◇広報委員会：RKK ニュース 94 号の編集。HP,Website の更新。カラーリーフレット配布推進。
- ◇キャリア支援委員会：「キャリア支援オンラインサロン」を月 1 回開催。RKK ニュースへの投稿。
- ◇企画委員会：会議室予約管理、助成金関連調査。
- ◇会計委員会：収支決算・精算処理
- ◇ICT 推進委員会：生成 AI、チャット GPT の調査、ハイブリッドデジタル機器の導入検討。
- ◇事務室：理事会・スタッフミーティング準備、会員推移データの更新、広報活動支援。

## NPO法人 留学生と語り合う会

連絡先：〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

e メール：[rkk1025office@yahoo.co.jp](mailto:rkk1025office@yahoo.co.jp) Tel & Fax: 045-813-8327

〔Website のご案内〕

PC の場合；[npo rkk](http://npo.rkk.jp)により検索、または <http://rkk.world.coocan.jp/>をクリック

スマホの場合；<https://sites.google.com/view/newrkk>をクリック、または、QR コードを利用

**Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers**

RKK ニュース編集：R K K 広報委員会 (新年号担当) 深水智明 Jan.25.2024

無断転載をお断りします。

